

## 《資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応》

2022年度（2023年3月期）の状況を踏まえた資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応につきましては、以下のとおりです。

### 1. 現状評価

資本収益性につきましては、WACC（加重平均資本コスト）を用いて資本コストを把握しており、中長期的にROE（自己資本当期純利益率）が資本コストを上回ることから、資本収益性を確保できていると評価しております。

また、市場評価につきましては、TOPIX 相対パフォーマンスを用いて中長期的に評価を行うとともに、PBR（株価純資産倍率）につきましても1倍を上回ることから、市場評価を得られていると評価しております。

（連結）	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
ROE	21.7%	18.2%	22.7%	23.8%	27.8%
PBR	3.1倍	2.8倍	3.3倍	3.1倍	3.9倍
PER	16.3倍	16.3倍	15.9倍	14.1倍	15.5倍
配当性向	30.2%	30.8%	32.1%	30.6%	33.0%

※PER（株価収益率）

### 2. 方針・目標

経営計画「経営 Vision 2026 改訂版」で掲げる以下目標の達成を通じて、資本収益性および市場評価のさらなる向上を目指して参ります。

- ・2026年度の連結業績において、売上高 220 億円、営業利益 48 億円、当期純利益 32 億円の達成を目標とする。
- ・資本コストを踏まえて、中長期的に 10%を上回る ROE の達成を目標とする。

### 3. 具体的な取組み

持続的な成長と中長期的な企業価値向上を実現するため、以下に取り組んで参ります。

#### (1) 経営計画「経営 Vision 2026 改訂版」の遂行を通じた業績向上

業績目標の達成に向け経営計画「経営 Vision 2026 改訂版」を推進し、主要顧客である製造業のビジネス環境の変化に対し、当社グループの強みを活かした製品・サービスで製造業を支援すべく、「ものづくりデジタルイノベーションの拡大」、「変革のための DX の推進」、「グローバル支援の強化」および「サステナビリティへの貢献」の「4つの柱」の戦略に取り組んで参ります。

#### (2) 成長投資、株主還元、双方への経営資源の配分推進

業績目標および中長期的な資本効率の目標を達成するため、成長投資（R&D、事業開発、人財、ビジネス基盤、M&A）に重点的に経営資源を配分して参ります。また、株主還元につきましても、2023 年度より、累進配当および連結配当性向が中長期的に 35%を上回るよう努め、経営資源を配分して参ります。

#### (3) 投資家向けの情報発信の充実を主とした IR 活動の推進・対話の強化

認知度向上のための取組みや事業内容・経営戦略に関する国内外の投資家との対話を強化して参ります。

事業内容・経営戦略の説明強化にあたりましては、「経営 Vision 2026 改訂版」の戦略説明や取組み状況を、IR サイトへの掲載、動画配信、株主通信等の媒体や国内外の投資家との対話を通じて積極的に発信して参ります。